

平成30年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・運動に対する興味・関心がみられ、積極的に取り組む生徒が多い。体育委員を中心とした、集団としてのまとまりの行動も見られるようになってきた。毎時間、ラジオ体操第一、準備体操、トレーニングなどの基本的な体力を高める運動を取り入れていることで継続して運動に取り組む姿勢が習慣づいてきている。

(2) 課題

・第1学年

興味・関心をもち、意欲を高める授業を展開する。単元が終わるごとにまとめの時間を設定し、自分への気づきや運動について理解する力を育てる。基礎技能・体力の定着を図り、運動の楽しさや喜びにつながるような授業を工夫して組み立てることを課題として取り組む。

・第2学年

興味・関心をもち、意欲を高める授業を展開する。単元が終わるごとにまとめの時間を設定し、知識や理解を深め、自他への気づきやそれぞれの課題を見つけさせる。活動を通して、ともに考え意見を交換しあい、仲間とのコミュニケーション能力・課題解決能力を身に付けさせることを課題として取り組む。

・第3学年

興味・関心をもち、意欲を高める授業を展開する。単元が終わるごとにまとめの時間を設定し、自他への気づきや課題を見つけ、課題解決のための活動ができるように取り組ませる。グループなどによる活動を通し、運動能力・体力の向上を図り、生涯体育へとつなげていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

保健体育科では大田区学習効果測定を実施していない。

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年～第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
運動に対する興味・関心がみられ、意欲をもって授業に参加している生徒が多い反面、健康との関わりや安全面のことまで深く考え、運動に取り組む意識が十分ではない生徒も見られる。	学習カード・チェックリストなどを使って、自分の課題をみつける取り組みを続けてきた結果、活動の仕方を理解し、自分の考えをまとめる力が、学年が上がるにつれ、身につけている。	運動に応じた基礎技能が身についた種目もみられるが、課題解決にむけた、技能が十分身につかなかった種目もみられた。	定期考査の結果から運動・健康・安全に関する基礎知識や理解力が十分な生徒と十分ではない生徒との差が大きく開いている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年～第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
自分の課題をみつけていかれるよう、学習カードなどを工夫し、目標・課題、健康・安全について意識させていく。	課題解決のために自分にあつた具体的な方法を選択したり、考えたりして、活動していく授業を実践していく。	自らの課題を見つけ、自分の力で課題を追求し、解決する楽しみや喜びを味わうことができる授業を実践していく。	重点を押さえた指導を継続して行うことにより、知識を高め、理解を深めていくことができるようにさせていく。